

経済データで見る「最近の世界経済動向(2013年9~11月)」

*青字は悪化指数、%は前年比 2013.11.20現在 日本機械輸出組合

	2013年9月	2013年10月	2013年11月	最近の経済動向
世界	- G20 世界経済回復弱く下振リスク -APEC 首脳会合、包括的統合へ、20 年までに貿易自由化、16 年未まで保護主義導入禁止 -ドバイ原油 4 日 110.90 ^{ドル} -8 月:半導体世界売上 6.4%増	-ドバイ原油 11 日 108.40 ^{ドル} -7-9 月:世界販売 PC7.6%減 、スマホ 36.7%増、タブレット 36.7%増 -9 月:半導体世界売上 8.7%増	-ドバイ原油 18 日 106.6 ^{ドル}	・欧州経済は長期低迷に底打ち傾向。米経済は消費堅調で拡大基調。中国経済は減速も成長維持。フィリピン、インドネシア、ベトナム、マレーシア、インドは 5~4%成長。タイは 2%台。シンガポールはマイナス。日本経済は回復傾向。
日本	- 景気 : -7 日 2020 年オリンピック東京に決定 7-9 月:大企業製造業景況感+12 大きく改善 - 株価 : 2 日 13,572、26 日 14,799、30 日 14,455 - 雇用 : 8 月:失業率 4.1% 前月比 0.3 ^ポ 上昇 - 消費 : 8 月:消費支出 1.6%減、小売販売 1.1%増猛暑、 新車販売 1.1%減 、住宅着工 8.8%増、 - 受注 : 8 月:機械受注 25.9%増、産業機械 46%増、 工作機械 1.7%減 - 生産 : 8 月:鉱工業 0.4%減、自動車 7.6%減 - 貿易 : 30 日 1 ^{ドル} 97.88 円、6 日 1 ^{ユーロ} 130.63 円、8 月:輸出 14.7%増、輸出 16%増 - 収益 : 4-9 月:営業益:シャープ ^ポ 300 億円、ミネベア 60%増、最終益:ロム 100 億円、沖 10 億円、14 年 3 月期:上場企業 27%増リーマン前 9 割 - 投資 : 8 月:機械受注民需 10.2%増、	- GDP : 7-9 月前期比年率 1.9%増、公共 6.5、住宅 2.7、消費 0.1、設備 0.2、 輸出▲0.6 - 政策 : 15 日産業競争力強化法案決定 - 株価 : 7 日 13,853、22 日 14,713、 31 日 14,327 - 雇用 : 9 月:失業率 4.0% 0.1 ^ポ 改善 - 所得 : 9 月:現金給与 0.1%増 - 消費 : 9 月:消費支出 3.7%増、車販売 17%増、住宅 19% - 受注 : 9 月:機械受注前期比 30%増、 工作機械 6.3%減 - 貿易 : 7 日 1 ^{ドル} 96.91 円、1 ^{ユーロ} 131.60 円、9 月:輸出 11.5%増、輸入 16.5%増、 貿易赤字 9,321 億円 、 - 生産 : 9 月:鉱工業 5.4%増、自動車 13%増、 - 収益 : 4-9 月: 経常益 : 上場企業 42%増、スズキ 70%増、 営業益 : トヨタ 81%増、1.3 兆円、 日産 3%減 、東芝 54%増、パナソニック 68%増 1.693 億円、シャープ ^ポ 338 億円、 ココン 54%減 、 純益 : ホンダ ^ポ 14%増、三菱自 55%増、日立 9%増、三菱電機 11%増、三菱重工 71%増、IHI 7%増、川重 5%増、クボタ 2.1 倍、日揮 8%増、 最終損 : NEC261 億円、ソニー 158 億円、富士通 96 億円、東京エレクトロ 24 億円、オリンパス 79 億円 - 投資 : 7-9 月:機械受注民需前期比 4.3%増、9 月 9.7%	- 景気 : 10 月:消費者態度指数 41.2、4.2 ^ポ 低下 - 株価 : 8 日 14,086、15 日 15,165、20 日 15,076 - 消費 : 10 月:新車販売 17.3%増、 - 受注 : 10 月:工作機械 8.4%増、国内 40%増 - 貿易 : 20 日 1 ^{ドル} 100 円、11 日 1 ^{ユーロ} 135.5 円、10 月:輸出 18.6%増、輸入 26.1%増、 赤字 10 月最大 - 収益 : 14 年 3 月期:営業益:上場企業 28%増、日立 18%増、5 千億円、東芝 50%増 2,900 億円、三菱電 45%増、 ソニー 26%減 、富士通 59%増、村田製 2 倍、日本電産 6.9 倍、純益:上場企業 64%増、トヨタ 67%増 2.2 兆円、スズキ 37%増、ダイキン 84%増	(前々月)・GDP4-6 月は 3.8%と 3 期連続十。失業率 4.1%に上昇。個人所得やや回復、住宅投資堅調、車販売急回復、個人消費は回復の兆し。輸出は円高是正で二桁増回復。受注、投資、生産もやや回復の兆し。純益 4-6 月期上場企業 74 %増、自動車、機械・プラント好調、家電も回復の兆し。株価は持直し傾向。景気回復、雇用拡大、財政赤字の縮小が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9 月は 1.9%と 4 期連続十。 失業率 4.0%でやや改善。個人所得やや回復、住宅投資好調、車販売回復、個人消費は回復傾向。輸出は円高是正で二桁増。受注、投資、生産回復傾向。経常益 4-9 月期上場企業 42%増、自動車、機械・プラント好調、電機回復。株価回復傾向。 景気回復、雇用拡大、財政赤字の縮小が課題。貿易収支赤字が懸念材料
アジア・大洋州	- 株価 : 上海 2 日 2,095、10 日 2,252、 26 日 2,158 - 中国 : 8 月:製造業景況感 50.1、50 以上、小売売上高 13.4%増、新車販売 10.3%増、輸出:7.2%増、輸入 7.0%増、鉱工業生産 10.4%増、1-8 月:固定資産投資 20.3%増、対中直接投資 6.4%増 - 韓国 : 12 日政策金利据置(2.5%)、8 月:輸出 7.7%増、輸入 0.8%増、 - 台湾 : 8 月:鉱工業生産 0.7%減、輸出 3.6%増、輸入 1.2%減、海外受注 0.5%増 - ASEAN : 8 月:新車販売 10%減、4ヶ月一 - フィリピン : 8 月:新車販売 22%増、消費者物価 2.1%増 - インドネシア : 8 月:新車販売 2%増、輸出 6.3%減、輸入 5.7%減、消費者物価 8.8%増 - マレーシア : 5 日政策金利据置 3.0% - タイ : 8 月:新車販売 23%減 - インド : 20 日政策金利 0.25%引上げ年 7.5%へ、8 月:新車販売 2.9%減、9 ヶ月一、卸売物価 6.1%増	- 景気 : ADB 経済成長回復は来年へ - GDP : 13 年:アジア 6%、中国 7.6%、インド 4.7%、インドネシア 5.7%、タイ 3.8%、ベトナム 5.2% - 株価 : 上海 7 日 2,186、15 日 2,234、 31 日 2,145 - 中国 : 9 月:製造業景況感 50.2、小売売上高 13.3%増、新車販売 19.7%増、工業生産 10.2%増、 輸出 0.3%減 中秋節、輸入 7.4%増、海外受注 2%増、7-9 月:GDP 7.8%増、純利益:レノボ ^ポ 36%増、1-9 月:固定資本投資 20.2%増 - 韓国 : 9 月:輸出 1.5%減、輸入 3.6%減、7-9 月:営業益:サムスン 26%増 9 千億円、スマホ、LG27%増、現代自 1.7%増 - 台湾 : 9 月:鉱工業生産 1%増、輸出 7.0%減、7-9 月:純利益 TSMC5%増、最終損:HTC99 億円、エイサー 440 億円、 - 東南アジア 6 カ国 : 9 月:新車販売 4%減、 - ベトナム : 9 月:消費者物価 6.3%増、新車販売 28%増、1-9 月:小売売上高 5.2%増、輸出 16%増スマホ - インドネシア : 9 月:消費者物価 8.4%増、新車販売 14%増 - マレーシア : 9 月:新車販売 20%増 - タイ : 9 月:新車販売 28%減、車生産 16%減、 - インド : 27 日 0.25%引上げ年 7.75%へ、9 月:鉱工業生産 2%増、新車販売 10%減、卸売物価 6.5%、	- 株価 : 上海 5 日 2,157、 13 日 2,097 、19 日 2,195 - 中国 : 16 日一人っ子政策転換 10 月:製造業景況感 51.4、0.3 ^ポ 改善、小売売上 13.3%増、車販売 20.3%増、輸出 5.6%増、輸入 7.6%増、工業生産 10.3%増、 - 韓国 : 14 日政策金利 2.5%に据置、7-9 月:GDP 4.1%増、投資増、消費堅調、10 月:輸出 7.2%増、輸入 5.2%増、 - 台湾 : 10 月:輸出 1.5%減、液晶パネル減、7-9 月: GDP 1.6%増、 - ASEAN : 9 月:新車販売 4%減、5ヶ月一 - ベトナム : 7-9 月: GDP 5.5%、 - インドネシア : 12 日 0.25%引上げ 7.5%へ、7-9 月: GDP 5.6%増、投資減速 - シンガポール : 7-9 月: GDP: 前期比 1.0%減 - マレーシア : 7-9 月: GDP 5.0%増 - タイ : 7-9 月: GDP 2.7%増、輸出▲1.8 - インド : 10 月:新車販売 5.8%減、卸売物価 7%増	(前々月)・中国は 4-6 月 GDP7.5%とやや減速も投資・消費高水準維持、輸出回復傾向、製造業景況感、株価も改善の兆し、企業業績回復。韓国、輸出回復傾向、消費で成長維持、企業業績概ね好調。台湾、輸出、生産は緩い回復、企業業績明暗。GDP4-6 月期、フィリピン、インドネシア、ベトナム、マレーシア、7~4%成長。タイ 2%台に鈍化、シンガポール 7-9 月期前期比マイナス。インド、4%台成長、物価上昇傾向も消費、生産はややプラス (前・今月)・中国は 7-9 月 GDP7.8%とやや上昇、投資・消費高水準維持、輸出回復傾向、製造業景況感、株価低水準上下、企業業績回復。韓国、輸出回復傾向、消費で成長維持、企業業績概ね好調。台湾、輸出はやや低迷、生産は緩い回復、企業業績明暗。GDP7-9 月期、インドネシア、ベトナム、マレーシア、5%台成長。タイ 2%台に鈍化、シンガポール 7-9 月期前期比マイナス。インドは物価上昇傾向も消費、生産はややプラスで 4%台成長

北米	<p>-GDP:4-6月2.5%増前期比</p> <p>-景気:5日FRB穏やかなペースで拡大</p> <p>-財政・金融:8月:財政赤字1,479億ドル、22.4%減)</p> <p>-株価:3日14,829、18日15,677最高、28日15,258</p> <p>-雇用:8月:失業率7.3%、0.1ポイント改善、</p> <p>-所得:8月:個人所得前月比0.4%増</p> <p>-消費:8月:個人消費前月比0.3%増、4ヶ月+、小売売上高4.7%増、前月比0.2%増、新車販売17%増、住宅着工0.9%増前月比、新築販売12.6%増前月比7.9%増</p> <p>-生産:8月:鉱工業前月比0.4%増</p> <p>-収益:6-8月:最終損:ブラックベリー950億円</p> <p>-貿易:8月:輸出3.0%増、輸入0.8%増、赤字582.7億ドル</p> <p>-投資:8月:設備稼働率77.9%0.3ポイント増</p>	<p>-財政・金融:1日暫定予算成立せず、一部政府機関閉鎖、16日民主・共和党債務問題合意、17日連銀景気緩やかに拡大、30日FRB量的緩和策維持</p> <p>-景気:9月:製造業景況感56.2、0.5ポイント上昇</p> <p>-株価:1日15,191、8日14,776、29日15,680</p> <p>-雇用:9月:失業率7.2%、0.1ポイント改善、</p> <p>-所得:9月:個人所得前月比0.5%増</p> <p>-消費:9月:小売売上高3.2%増前月比0.1%減、新車販売4.2%減営業日2日少ない、</p> <p>-生産:9月:鉱工業前月比0.6%増高水準</p> <p>-収益:7-9月:純益:主要500社4.1%増、GM53%減690億円、フォード22%減1,250億円、クライスラー22%増、アップル9%減7300億円、GE9%減3,100億円、IBM6%増40.4億ドル、インテル1%減29.5億ドル、TI20%減3,200億円、クアルコム18%増1,480億円、キヤパリアー44%減920億円、マイクロソフト17%増52.4億ドル、グーグル36%増29.7億ドル</p> <p>-貿易:9月:輸出0.5%減、輸入0.9%増、赤字612.8億ドル</p> <p>-投資:9月:設備稼働率78.3%0.4ポイント増</p>	<p>-財政・金融:1日時期FRB議長イエレン氏「米経済回復への道のりは長い」</p> <p>-GDP:7-9月:前期比年率2.8%増、消費1.5、投資1.6、住宅14.6、輸出4.5、政府0.2</p> <p>-株価:7日15,593、15日15,976、19日15,967</p> <p>-雇用:10月:失業率7.3%、0.1ポイント上昇、政府機関一時閉鎖</p> <p>-消費:10月:個人消費支出前月比0.2%増、5ヶ月連続+、新車販売10.6%増、</p> <p>-生産:10月:鉱工業前月比0.1%減</p> <p>-投資:10月:設備稼働率78.1%0.2ポイント減</p>	<p>(前々月)・GDPは4-6月2.5%と上方修正、9ヶ月連続でプラス。失業率高水準もやや低下。住宅二桁増続く・車好調、個人消費は堅調。輸出回復傾向へ、投資も回復傾向、生産増加の兆し。企業収益7-9月4%増とやや回復、企業により斑模様。株価は予算・財政問題でやや低下。</p> <p>景気回復の持続、雇用拡大が課題。金融緩和縮小時期が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDPは7-9月2.8%増と上方修正、12ヶ月連続でプラス。失業率7%台。住宅二桁増続く・車好調もやや鈍化、個人消費は堅調。輸出は上下、投資は回復傾向、生産増加の兆し。企業収益7-9月4%増とやや回復、企業により斑模様。株価は上昇傾向、最高値更新。</p> <p>景気回復の持続、雇用拡大が課題。金融緩和縮小時期が懸念材料。</p>
欧州	<p>-GDP:4-6月(前期比):ユーロ0.3%増</p> <p>-財政・金融政策:1日ECB政策金利据置(0.5%)景気緩やかに回復</p> <p>-株価:英FTSE3日6,468、16日6,622、30日6,462</p> <p>-雇用:8月:失業率ユーロ12.2%、独5.3%、仏11.0%、スペイン26.6%、オランダ7.0%、ポーランド10.4%</p> <p>-消費:8月:小売売上高:ユーロ0.2%減、独0.5%増、仏2.3%増、英1.6%増、スペイン6.2%減、ポーランド4.5%増、新車販売:ユーロ5.4%減、独5.5%減、仏10.5%減、英10.9%増、伊6.6%減、蘭13.3%減、スペイン18.3%減、ポーランド5.9%増</p> <p>-貿易:8月:ユーロ輸出5%減、輸入7%減</p> <p>-生産:8月:鉱工業:ユーロ1.1%減、独0.8%増、仏2.7%減、英1.3%減、伊4.6%減、蘭0.4%増、スペイン2.1%減、ポーランド2.9%増</p>	<p>-財政・金融政策:8日ECB政策金利0.25%引下げ年0.25%へ、14日南欧銀膨らむ不良債権</p> <p>-株価:英FTSE1日6,460、9日6,337、30日6,777</p> <p>-雇用:1日シーメンス世界雇用1.5万人削減、9月:失業率ユーロ12.2%、独5.2%、仏11.1%、スペイン26.6%、オランダ7.0%、ポーランド10.4%</p> <p>-消費:9月:小売売上高:ユーロ0.3%増、独0.2%増、仏2.3%増、英2.1%増、スペイン2.2%増、ポーランド6.5%増、新車販売:ユーロ5.4%増、独1.2%減、仏3.4%増、英12.1%増、伊2.9%減、蘭1.4%減、スペイン28.5%増、ポーランド14.7%増</p> <p>-貿易:9月:ユーロ輸出3%増、輸入±0%、独黒字200€</p> <p>-生産:9月:鉱工業:ユーロ1.1%増、独1.3%増、仏0.2%減、英2.4%増、伊3.0%減、蘭1.6%増、スペイン1.4%増、ポーランド5.6%</p> <p>-収益:7-9月:純益:ダイムラー62%増、BMW3%増、シーメンス12%減、フィリップス2.7倍380億円、エレクトロラックス29%減、1-9月:VW67%減、最終損:7-9月:FIAT20億円、ノキア120億、アルカテル・ルーセント2億€</p>	<p>-GDP:7-9月(前期比):ユーロ0.1%増、独0.3%増、仏0.1%減、英0.8%増、伊0.1%減、蘭0.1%増、スペイン0.1%増、ポーランド0.6%増</p> <p>-財政・金融政策:7日ECB政策金利0.25%引下げ(年0.25%)、英国政策金利据置(0.5%)、</p> <p>-株価:英FTSE4日6,763、13日6,630、19日6,698</p> <p>-消費:10月:新車販売:ユーロ4.3%増、独2.3%増、仏2.6%増、英4.0%増、伊5.6%減、蘭37.4%増、スペイン34.4%増、ポーランド19.3%増</p>	<p>(前々月)・ユーロGDP4-6月0.3%増と7四半期ぶりにプラスへ。失業率は過去最悪続く、自動車販売は反転の兆し。消費は英独を中心に底打ちの兆し。他方、輸出再びマイナス、生産も依然低迷。投資も停滞。企業業績4-6月は3期連続で大幅減益。一部自動車、機械・プラント、家電は好業績。株価は低水準上下。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・ユーロGDP7-9月前期比0.1%の微増。失業率は過去最悪続く、自動車販売は回復の兆し、消費は英独を中心に底打ちの兆し。輸出もプラスへ、生産も回復の兆し。投資も停滞。企業業績4-6月は3期連続で大幅減益。一部自動車、機械は好業績。株価は低水準上下。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-トルコ:1-6月:貿易赤字752億ドル1.3%増</p> <p>-エジプト:12年7月~13年6月国際収支2.4億ドル黒字に</p>			<p>・エジプト、シリアで政情不安定。リビア、アルジェリア安定化傾向。サウジアラビア、クウェートUAEは安定成長、電力等インフラ開発、石化プロジェクトに需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-チリ:1-6月:新車販売16.1%増、上半期体内直接投資64.5%増過去10年間で最高</p> <p>-メキシコ:4-9月:GDP2.9%減4年ぶり資金流失信用収縮</p>	<p>-ブラジル:10日0.5%引上げ年9.5%へ、9月:消費者物価5.9%、鉱工業生産0.7%増前月比、1-9月自動車販売0.3%減、</p> <p>-メキシコ:31日政策金利0.25%引下げ年3.5%へ</p>		<p>・ブラジル経済は物価上昇による金融引締めでやや下降傾向も3%台成長。メキシコ経済は資金流失、信用収縮4年ぶりマイナス成長。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:8月:新車販売10.5%減23.2万台6ヶ月連続前年マイナス、4-6月GDP1.2%増減速傾向</p>	<p>-ロシア:9月:新車販売5%減24.7万台7ヶ月連続マイナス、7-9月GDP1.2%増、石油輸出減、投資低迷、消費減速、1-9月:鉱工業生産0.1%減</p>	<p>-ロシア:10月:新車販売8.0%減23.4万台8ヶ月連続マイナス</p>	<p>・ロシアは輸出の減少、車販売の大幅な落込み、消費、投資、生産の低迷で1%台低成長。持続的回復が課題。</p>